



## 今後の実証事業の予定

2022年8月3日

環境省環境再生・資源循環局

# 福島県内での道路盛土実証事業計画(案)

## (1) 実施内容

除去土壌の再生利用について、さらなる用途拡大を図るため、道路盛土への利用について実証実験を行い、実際に現場施工する際の課題や対応方策等を整理する。  
また、成果は「再生利用の手引き」等に反映する。

## (2) 実証事業概要

### ○実施場所

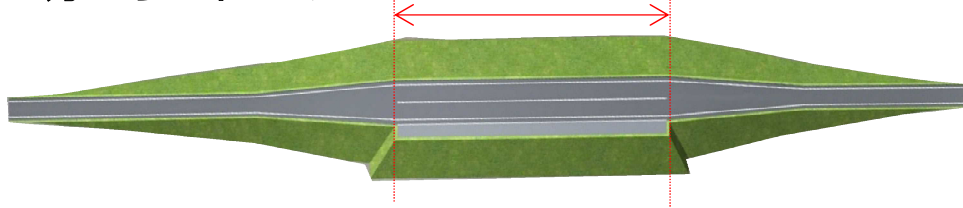
中間貯蔵施設内

### ○構造物の種類

一般的な道路規格として、3種2級(交通量4千~2万台/日)の歩道付きの構造とする。

上方からのイメージ

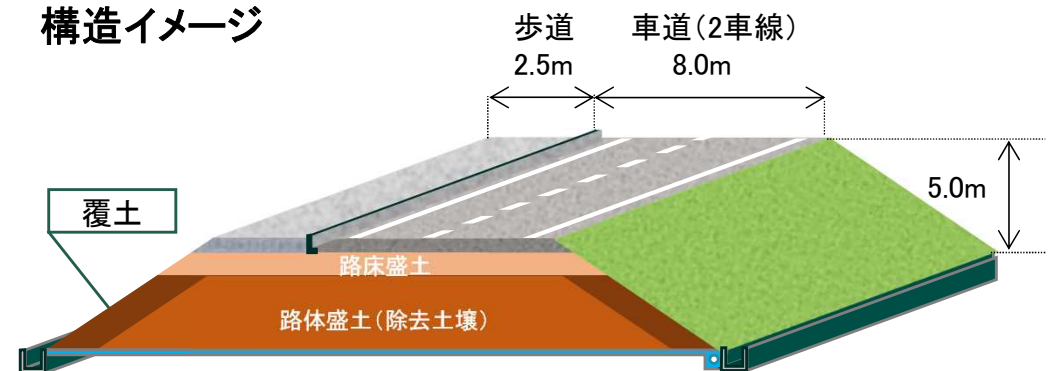
再生資材利用区間



側面からのイメージ



構造イメージ



# 福島県内での道路盛土実証事業計画(案)



## (3) 検討事項

- 除去土壌を利用した道路盛土の設計・施工等の考え方
- 除去土壌を利用した道路盛土の評価
- その他

## (4) スケジュール(予定)

2022年					2023年	
...	9	10	11	12	1	...
設計、施工方法・手順の検討			施工			各種試験 モニタリング

# 福島県外での再生利用実証事業計画(案)

- これまで福島県内で再生利用の実証事業を行い、安全性の確認等を行ってきた。
- 福島県外での最終処分の実現に向けては、県内外において再生利用を進めることが必要であり、福島県外においても除去土壌等の再生利用の実証事業を行う。

## 事業概要

- 再生資材の駐車場、花壇等の利用における施工時及び供用時の安全性等の確認を行うとともに、理解醸成のツールとしても活用する。

駐車場

広場

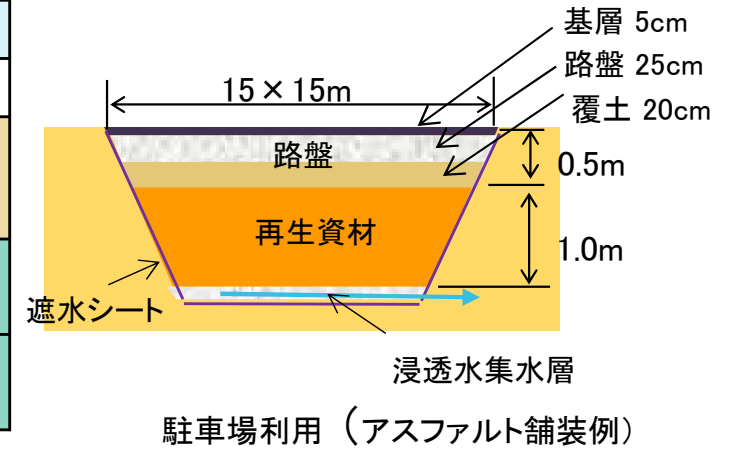
花壇

※測定管理項目：施工時及び供用時の埋立地及び周辺の空間線量率、  
空気中放射能濃度(粉塵濃度)、浸透水中の放射能濃度、植栽への影響等

※実施スケジュール：R4年度施工予定、施工後モニタリング

## ○駐車場での再生利用(4パターン、15m×15m)

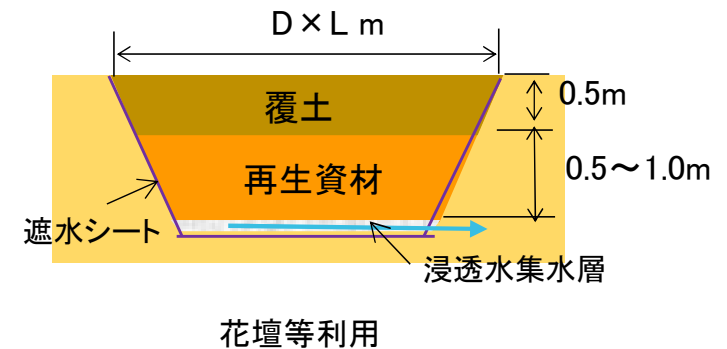
埋立パターン※1	P1	P2	P3	P4
基層	アスファルト舗装 5cm	コンクリート 15cm	砂利敷 15cm	
路盤	通常の路盤材 25cm	通常の路盤材 15cm	現地掘削土 35cm	
覆土	現地掘削土 20cm			35cm
路床 (1m)	再生資材	再生資材 ※2	再生資材	
再生資材物量 m <sup>3</sup>	160	160 スラグ含む	160	160



- ※1 パターン別に遮へいと浸透水に及ぼす影響を確認
- ※2 スラグを含む (スラグは仮設熔融炉の生成物を活用)

## ○花壇、広場での再生利用(3パターン)

埋立パターン	F1	F2	F3
埋立エリア (D×L)	15m×15m	5m×13m	3m×10m
覆土 (50cm)	現地掘削土		
植栽土壌	再生資材1m	再生資材 0.5m	再生資材 0.5m
再生資材物量 m <sup>3</sup>	160	20	6



※再生資材: 除去土壌を分級等の処理を行い資材化したもの

# 事業実施箇所への輸送方法(案)

	駐車場利用、花壇等利用 (F1、F2)		花壇等利用 (F3)
輸送車両	10tダンプ		箱形トラック (※)
	①遮蔽型 (※2)	②BOXシート型 (※2)	

※小型袋に袋詰めし、雨水浸入防止措置のとられた箱形トラックで運搬することを想定

## ①遮蔽型イメージ



## ②BOXシート型イメージ



※「令和3年度除去土壌再生利用実証事業 試験盛土点検・監視等業務(南相馬市小高地区)(その2)」において、施工性、安全性(漏水・雨水浸入防止試験、積込み・輸送・荷下ろしによる逸出等確認試験)等の実証実験。